

今月のご挨拶



日に日に厳しい寒さも和らぎ、
春の陽気を感じる季節になりました。
皆様いかがお過ごしでしょうか。
今月もよろしくお祈りいたします！

気温・湿度が上がる
春から夏にかけて
気になるカビの対策に
おすすめです！



オズリンカルMB

リンカルノンカビM



牛の健康にトリプルパワー！
カビ毒吸着材入り飼料

(荷姿：20kg袋 ペレット)

(荷姿：20kg袋 粉)

★特徴★

- ①乳牛・育成牛専用のリンカル入り混合飼料
 - ②体内吸収の良い有機ミネラル入り
 - ③カビ毒吸着力の強いベントナイトを使用
- ※カビ毒吸着力を確認できるベントナイトを使用しています。



製品小話 カビ毒について

湿度が上がってくると、サイレージのカビが気になりませんか？

目に見えるカビの除去だけでは、カビの胞子まで完全に取り除くことはできません。

オズリンカルMB・リンカルノンカビMに使用している多孔物質（ベントナイト・ケイソウ土）はカビ毒の一つである「アフラトキシン」を吸着！

※アフラトキシンは飼料中の基準値が0.01mg/kg以下に定められています
カビ毒の働きを軽減して糞と共に排出します。



多孔物質はカルシウムなどのミネラルも一緒に吸着してしまうことがあり、吸収の良いペプチドミネラルも同時に与えることをお勧めします。

また、リンカルノンカビMにはカビ毒の無毒化を目的とした植物由来抽出物を配合しており、酵素作用によるカビ毒の無毒化によってカビ毒から牛を守ります。ぜひオズリンカルMB・ノンカビリンカルMをカビ毒対策にご活用ください！



カビのひみつ

カビは感染症の原因となる、細菌の一種と思われがちですが、実は人間と細胞構造が近く、細菌よりも進化した生物です。

カビは細菌よりも10~20倍程大きく、酵母やキノコもカビの仲間に入ります。



細菌

(乳酸菌など)



カビの仲間

(イースト菌・キノコなど)

カビは人間や動物に悪影響を及ぼすこともありますが、チーズや味噌の生産のために役立っている生物でもありますね。

担当のひとりごと



初めまして、中途入社 of 酒井です。

宜しくお願ひ致します。

前職は豚の生産現場で働いていました。

3,4月という花粉本番の季節ですが、今年にはニュースでも10年に一度の大飛散だと言っていました。

私自身も花粉症ですが、目や鼻は特に辛いです。今年からは1月からこの季節のために早めに薬を服用していますが、それ以上に花粉のダメージがひどいです。このような状態なので、マスクも手放せません。

寒暖差がまだ残る時期なので、みなさんくれぐれも体調には気をつけて仕事に励みましょう。 酒井



🏠 Youtubeに固形塩の動画をアップしています！

